科目ナンバリング	U-LAS00 10002 LJ34						
授業科目名 <英訳>	哲学II Philosophy II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 松本　啓二朗		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

哲学とは何か。過去の大きな哲学者たちは何をどのように問うていたのか。本授業では、古典的なテクストの読解をとおして哲学史的な知識を身につけることを目的の一つにする。

そしてそれとともに、受講生自らが哲学的な問いを考えていくことを目指す。それが本授業のもう一つの目的である。

[到達目標]

・哲学史（19世紀頃から現代まで）の基礎知識を身につける。
・哲学的な問いを自ら考えることができるようになる。

[授業計画と内容]

本授業（II）では、導入的な話のあと、19世紀頃から現代までの哲学の古典の抜粋を読解していく。

第1回　導入――哲学とは何をどのように問うのか
第2回　古代から18世紀頃までの哲学において問われてきたこと
第3回　ヘーゲル（1）
第4回　ヘーゲル（2）
第5回　ニーチェ（1）
第6回　ニーチェ（2）
第7回　フッサール（1）
第8回　フッサール（2）
第9回　ハイデガー（1）
第10回　ハイデガー（2）
第11回　ヴィトゲンシュタイン（1）
第12回　ヴィトゲンシュタイン（2）
第13回　西田幾多郎（1）
第14回　西田幾多郎（2）
最終回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業では毎回課題を出す。成績は、「授業への参加態度」（40%）と「課題に対する回答」（50%）、ならびに学期末の「レポート」（10%）によって評価する。詳細は初回講義時に説明する。

哲学II(2)へ続く↓↓↓

哲学II(2)

[教科書]

授業で使う資料は、コピーを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で扱う資料を必ず読んでくること。十分な予習が必要である。

[その他（オフィスアワー等）]

原典を読みながら考える。そのなかでさまざまな問いを見つけ出して、さらに考える。大人数の講義形式の授業ではあるが、できる限りそのようなことを行って、知識の習得にとどまらない哲学的な知の営みを経験してほしいと思っている。

適正授業規模の範囲内で行うため、履修人数制限を行う。

[主要授業科目（学部・学科名）]